

「CSRレポート2012」の ウェブサイトでは 冊子に掲載しきれなかった 2011年度の取り組みを 網羅的に紹介しています

ウェブも
チェック!!



皆様のご意見をお聞かせください!
ウェブサイトから「CSRレポート2012」に対する
アンケートにご回答いただけます。ご協力をお願いします。

<http://www.to-ho.co.jp/csr/csrreport/>

トーホー CSRレポート 検索

ウェブ掲載情報

安心・安全の取り組み

- ▶ **商品の品質管理**
 - ・食品安全管理
 - ・ISO22000の認証取得
 - ・従業員の安全教育
 - ・残留農薬などの検査体制
 - ・お客様の品質・衛生管理支援
 - ・商品の期限管理
 - ・商品のトレーサビリティ
- ▶ **商品・情報サービスの提供**
 - ・自社商品の開発
 - ・地産地消の取り組み
 - ・農業への参入
 - ・商品情報の提供
 - ・適切な品質表示

マネジメント

- ・CSRマネジメント
- ・コーポレート・ガバナンス
- ・リスク管理
- ・法令遵守
- ・個人情報保護

環境活動

- ▶ **環境マネジメント**
 - ・環境方針
 - ・環境マネジメントシステムの構築
 - ・環境の内部監査・外部審査
 - ・従業員の環境教育
 - ・環境会計
 - ・環境保全活動の目標と実績
 - ・事業活動が環境に及ぼす影響
- ▶ **環境パフォーマンス情報**
 - ・地球温暖化の防止
 - ・食品廃棄物の削減
 - ・資源の有効活用
 - ・容器・包装の削減
 - ・レジ袋の削減
 - ・店舗での資源ゴミ回収
 - ・生物多様性の保全

社会・文化活動

- ▶ **株主・投資家との関わり**
 - ・適正な利益配分
 - ・情報開示の充実
 - ・社会貢献型株主優待
 - ・環境配慮企業支援ファンドへの組み入れ
- ▶ **お客様との関わり**
 - ・お客様満足度の向上
 - ・お客様への情報提供・提案活動
 - ・店舗での接客技術の向上
 - ・ご利用いただきやすい店舗づくり・サービス
- ▶ **取引先様との関わり**
 - ・公正な取引
 - ・取引先様との対話
 - ・フェアトレード認証コーヒー
- ▶ **地域社会との関わり**
 - ・社会貢献活動の考え方
 - ・食育・食農活動
 - ・震災復興・支援活動
 - ・スポーツ・文化活動
 - ・障がい者福祉活動
 - ・環境保全活動
 - ・国際貢献活動
- ▶ **従業員との関わり**
 - ・多様な雇用
 - ・ワークライフバランスへの配慮
 - ・従業員の処遇・評価制度
 - ・能力開発
 - ・従業員の声を聞く仕組み
 - ・労働安全衛生

トーホーグループ CSRレポート
食を通して社会に貢献する



CSR Report 2012

表紙に込めた思い

トーホーグループのお客様は、
外食産業のプロの方から一般
の消費者の方まで、多岐にわた
ります。食を知りつくしたグループ
企業として「食を通して社会に
貢献する」という経営理念のもと、
お客様のニーズにお応えする
ため、生産・仕入・調達から販売
に至るまで一貫してサポートして
まいります。



株式会社 トーホー

CSR推進部

〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西5丁目9番
TEL. 078-845-2456 FAX. 078-845-2473
<http://www.to-ho.co.jp>



この冊子は、環境に配慮して、植物油と水なし印刷を採用しています。
また、印刷用紙には、適切に管理された森林で生産されたことを示す
FSC® 森林認証紙を使用しています。

2012年4月発行(次回は2013年4月発行予定)

Contents

トーホーグループのCSRの考え方 3

トップコミットメント 5

外食ビジネスを営むお客様へ



全国各地で外食産業のプロに
満足いただける食材を提供する 7

食の「安心・安全」～消費者に安心して外食していただけるように 9

「環境」への配慮 ～事業活動にともなうCO₂排出を低減するために 11

全国のグループ会社でも
CSRの輪が広がっています 12

一般のお客様へ



「健康で安心な地域の冷蔵庫」として
愛され親しまれる店舗づくり 13

食の「安心・安全」～地元の新鮮で安全な食材を提供して 15

「環境」への配慮 ～お客様とともに廃棄物を削減し、社会に貢献するために 16

ステークホルダーの皆様へ



良好な関係づくりに努めて
社会から必要とされる企業を目指す 17

従業員とともに ～働きがいのある職場を作り、ともに活動を推進 19

マネジメント 21

第三者意見 22

編集方針

トーホーグループは、2002年に(株)トーホーが「環境報告書」を発行して以来、経営理念である「食を通して社会に貢献する」活動について報告するレポートを毎年、発行してきました。

今回のレポートでは、「外食ビジネスを営むお客様」と「一般のお客様」に対して取り組んでいる活動を中心に、当社グループが特に重視している活動に絞って報告しました。また、近年新たに当社グループに加わったグループ会社の取り組みをできる限り取り上げました。さらに、当社グループと関わりのある皆様からのご意見や、活動の担い手である従業員の思いを掲載することで、「顔」の見えるレポートを目指しました。

報告対象組織

トーホーグループ
((株)トーホー、(株)トーホーマーケティングサポート、(株)トーホーフードサービス※1、(株)トーホーキャッシュアンドキャリー、(株)トーホーストア、(株)トーホービジネスサービスの6社を中心に、その他のグループ会社についても一部報告しました)

※1 2012年2月1日、(株)トーホーフードサービスは会社分割し、業務用食材の仕入・調達を担う(株)トーホーマーケティングサポートと、業務用食品現金卸売事業を担う(株)トーホーキャッシュアンドキャリーを新設しました。

報告対象期間

2011年度
(2011年2月1日から2012年1月31日まで)

冊子とウェブサイト

冊子では、当社グループが重視し、主な読者であるお客様にとって関心の高い取り組みを中心に報告しています。

ウェブサイトでは、冊子に掲載できなかった活動についても、網羅的に報告しています。

冊子

ウェブサイト

CSRレポート2012 (ウェブサイト)
<http://www.to-ho.co.jp/csr/csrreport/>

会社概要

日本各地で、食に関わる企業グループとして期待と信頼に応えていきます

ディストリビューター事業

(業務用食品卸売事業)

■ (株)トーホーフードサービス 50 事業所
◆ (株)昭和食品 ◆ 河原食品(株)※2
◆ (株)トーホー・カワサキ ◆ (株)トーホー・群馬
◆ (株)藤代商店※2 ◆ (株)トーホー・共栄
◆ (株)トーホー・仲間 ◆ (株)A.I.(アイ)※2

(業務用食品仕入・調達事業)

■ (株)トーホーマーケティングサポート

キャッシュアンドキャリー事業

(業務用食品現金卸売事業)

■ (株)トーホーキャッシュアンドキャリー A-プライス 85店舗
◆ (株)トーホー・パワーラックス
◆ 日食商事(株)※2

その他事業

■ (株)トーホービジネスサービス
◆ (株)アスピット ◆ シャンボール(株)※3
◆ (株)トーホーファーム ◆ (株)TSK ◆ (株)神戸宮織
◆ 神戸コンフォーム(株) ◆ (株)宇都宮総合卸売センター
◆ (株)フィナンシャル・アドバイス

食品スーパー事業

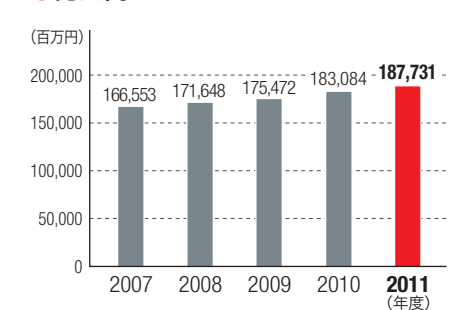
■ (株)トーホーストア 42店舗

会社概要 (2012年1月31日現在)

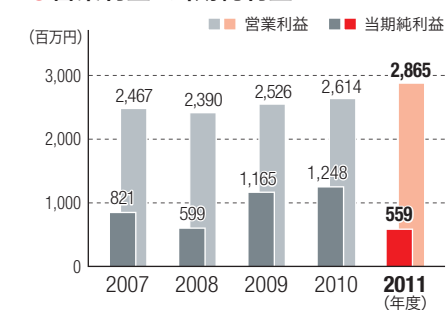
商 号 株式会社トーホー
事 業 内 容 各事業会社の経営管理
所 在 地 神戸市東灘区向洋町西5丁目9番
資 本 金 53億4,477万円
代 表 者 代表取締役社長 上野 裕一
連結売上高 1,877億円
グループ従業員数 1,963名
(嘱託・パートタイマー等2,207名)
株 式 上 場 東証・大証1部、福証上場

財務データ(連結) (2012年1月31日現在)

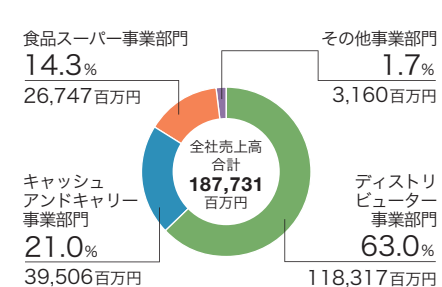
●売上高



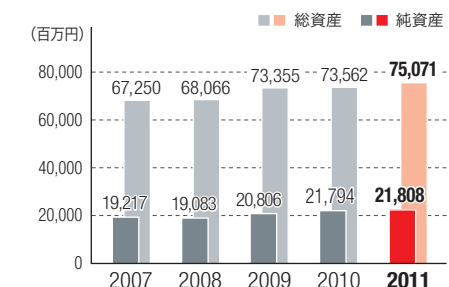
●営業利益・当期純利益



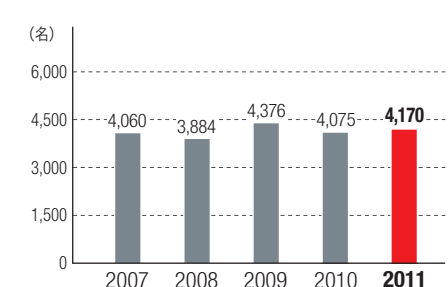
●セグメント別売上高構成比



●総資産・純資産



●従業員数

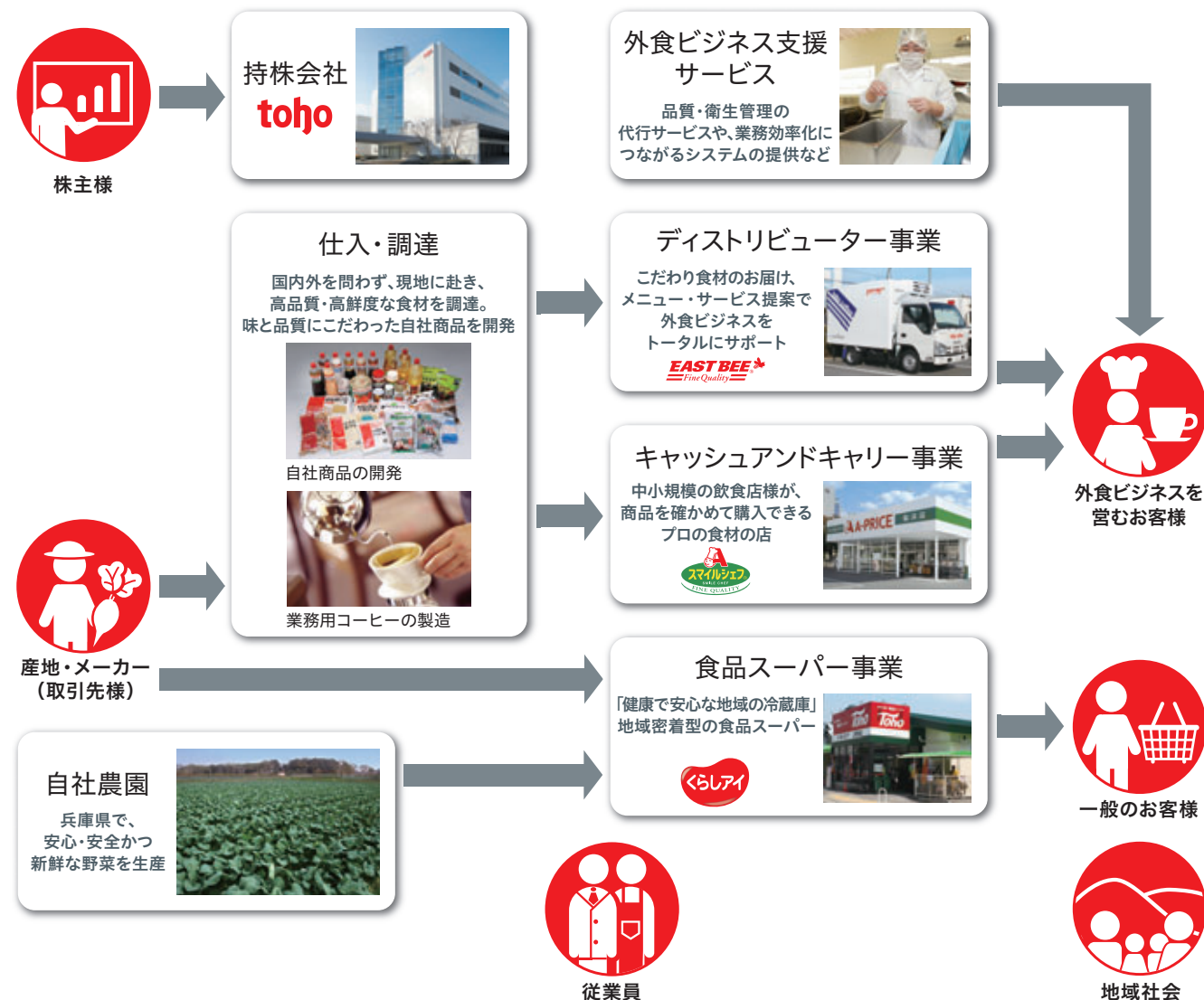


免責事項：本レポートにはトーホーグループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における予想・予測・計画が含まれております。これらには記述した時点で入手できた情報に基づく仮定や判断が含まれており、諸条件の変化によって、本冊子に記載した予想・予測・計画とは異なる可能性があります。読者の皆様には、このような点をご了承いただきますようお願い申し上げます。

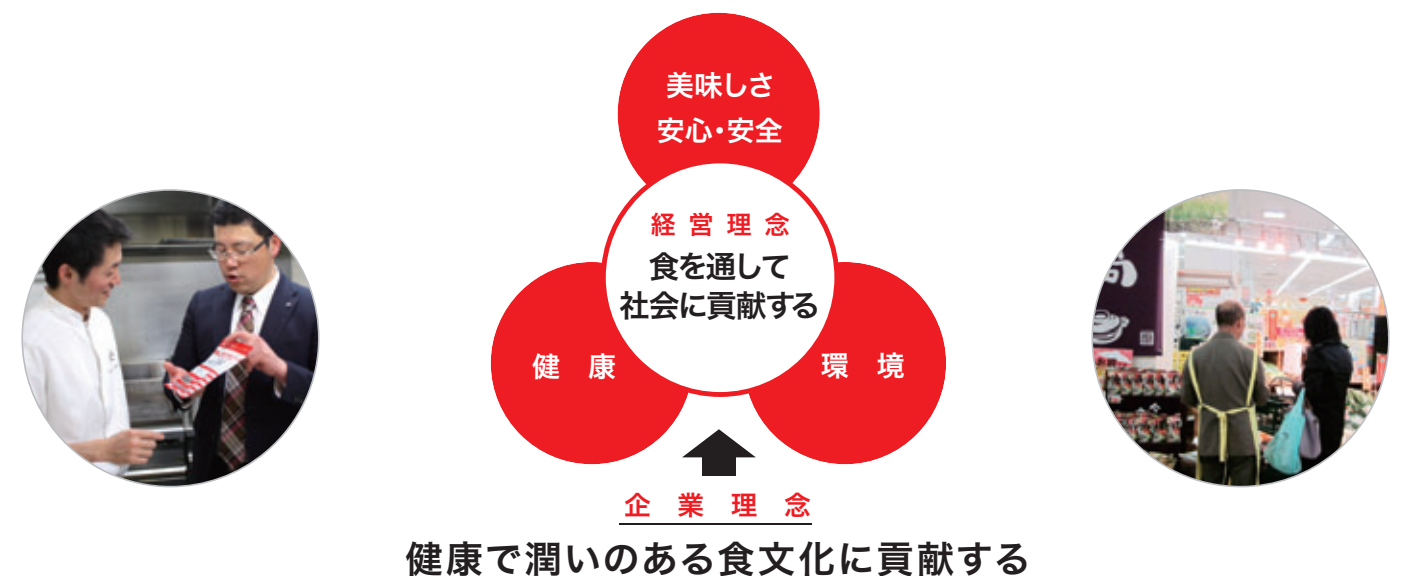
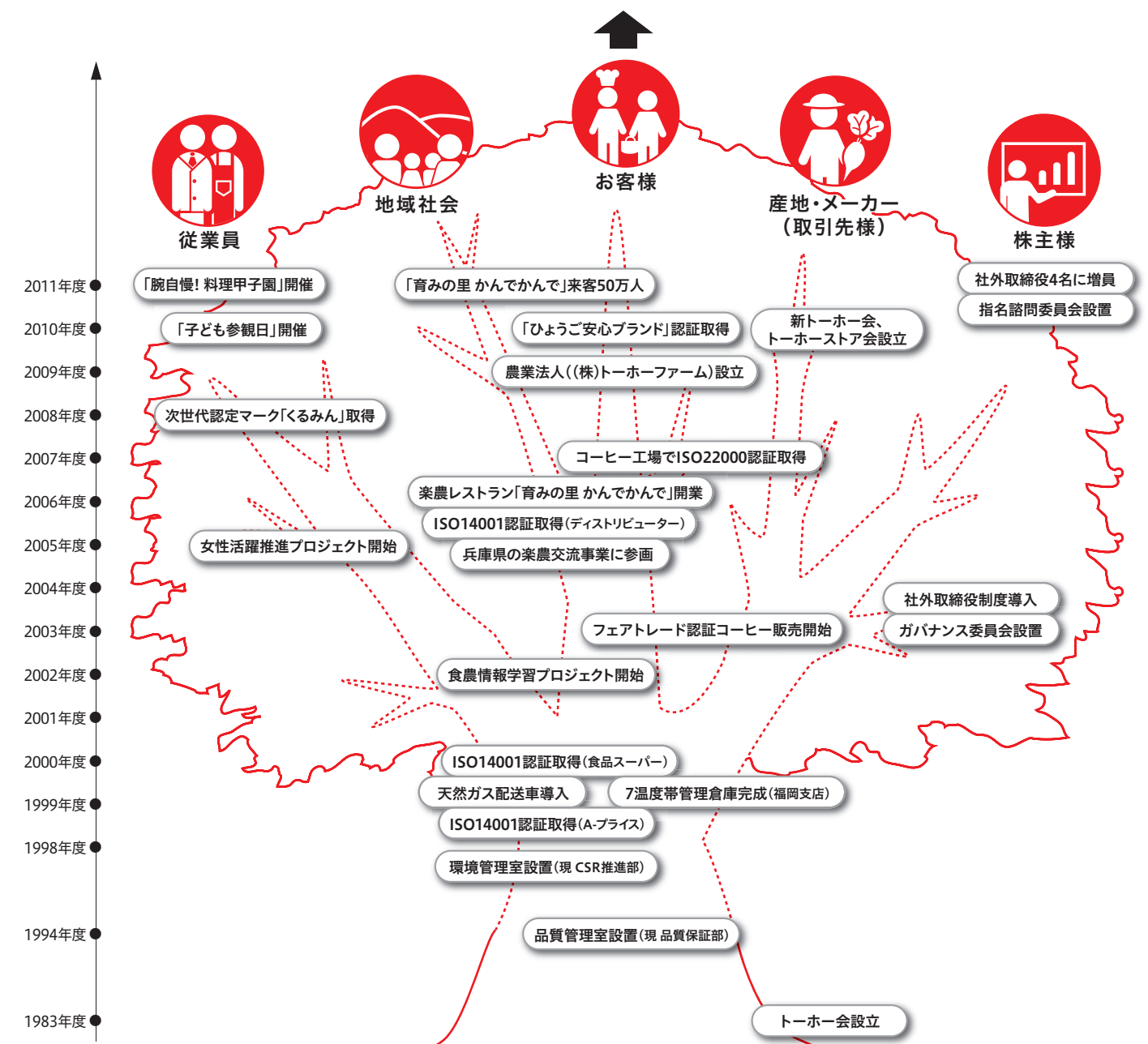
「美味しさ」そして「安心・安全、健康、環境」をキーワードに 皆様から必要とされる企業になることを目指します

美味しく楽しい食事は、人々の暮らしを豊かに鮮やかに彩ります。だからトーホーグループは「食を通して社会に貢献する」という経営理念のもと、「美味しさ」そして「安心・安全、健康、環境」をキーワードに、「外食、中食、内食」のあらゆる「食」のシーンで人々の暮らしに貢献し、皆様から信頼され必要とされる企業グループになることを目指します。

●事業とステークホルダーの関わり



目指す姿 社会から信頼され必要とされる企業グループへ



グループ総合力を活かして食に関する さまざまな課題を解決し、社会に貢献していきます

東日本大震災からの復興に向け 多くのお客様、株主様にご協力いただきました

まず、2011年3月11日に発生した東日本大震災で被害に遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。トーホーグループでは被災地の復興支援のため、義援金を寄贈したほか、店頭での募金活動や社会貢献型株主優待制度を活用した義援金の寄付を実施しました。多くのお客様、株主様にご協力を賜り、感謝申し上げます。

そのほか、地震発生直後には被災によって食材供給がストップしていた東北エリアの外食事業者様に、従来の商品供給エリアを越えて食材をお届けしたり、5月には(株)トーホーストアで「食べて応援しよう！茨城県産農産品フェア」を開催するなど、事業を通じた支援もさせていただきました。

また、震災を契機として、BCP(事業継続計画)の見直しにも着手しました。データセンターを統合しバックアップ体制を整備することで、企業の根幹である情報システムの安全性を高めるとともに、従業員安否確認システムを再構築しています。

節電活動にも積極的に取り組み、本社はもちろん、事業所、店舗を含む全拠点で、空調の温度設定の徹底や、照明の間引き、省エネ機器の導入などを実施しました。さらに2012年3月からは電力使用量の大きい物流倉庫の冷凍・冷蔵設備を省電力化する自動制御装置を導入したほか、4月からは本社に電力使用量をリアルタイムで表示する電子掲示板を設置。“見える化”によって、従業員一人ひとりのさらなる意識向上を図っています。

「安心・安全」の確保を追求し 放射性物質の検査体制を整備しました

当社グループにとって最重要な社会的責任は食の「安心・安全」の確保であるという認識に立ち、徹底した

品質管理に努めています。その一環として、2009年6月に資本参加した(株)キューサイ分析研究所との連携を強め、精度の高い品質管理体制を構築してきました。2011年8月には放射性物質の検査体制を整備、お客様のご要望にお応えして検査を実施しています。

日本の食料自給率の低さも看過できない大きな問題です。地産地消の推進、(株)トーホーファームによる自社農園の運営、兵庫県の楽農生活センターでの食育・食農活動など地道に取り組みを続けています。

楽農生活センターは他からも注目されるようになってきており、是非若い人にも食と農業にもっと関心を持ってもらいたいと思います。

ソリューション力に磨きをかけ さまざまな課題に取り組んでいきます

外食産業のお客様に対しては、「外食ビジネスをトータルにサポートしていきたい」との思いから、食材の提供にとどまらず、食の安全に関わる情報提供やメニュー提案から業務のIT化、品質管理、改築・改装まで、あらゆる面でサポートできるよう、ソリューション力に磨きをかけてきました。2011年2月にはフォアグラやトリュフなどの高級食材をヨーロッパ各国から直輸入・販売する(株)A.I.(アイ)を、2012年3月にはトーホーグループの外食産業に向けた青果販売の強化を目的として(株)藤代商店をグループ化するなど、商品力とサービス力を一層強化し充実しました。

また、外食産業の8割以上は中小規模の飲食店様が占めていると言われています。2012年2月に会社分割によってA-プライスを運営する(株)トーホーキャッシュアンドキャリーを新設し、「食材の調達でお困りになっていらっしゃる中小規模の飲食店様のニーズにお応えする」という社会的使命に対してスピード感を持って対応可能な体制を整えました。

一般のお客様を対象としたトーホーストアでは、「健康で安心な地域の冷蔵庫」というコンセプトのもと、自社農園トーホーファームや近郊農家の新鮮野菜、兵庫県の特産品など、地産地消を積極的に推進するとともに、産地直送の“こだわり食材”の提供に注力しています。また、少子高齢化や過疎化で増加する「買い物弱者」支援に向けた出店を通じて、社会的な課題の解決にも取り組みました。

さらに、ステーキホルダーの声を経営に活かすため、2011年4月には取締役・監査役に占める社外役員の数に12名中7名に増強し透明性の高い経営を追求して

います。また、M&Aでグループ入りした会社も成長させ雇用も維持、拡大しつつ経営理念である「食を通して社会に貢献する」をグループ全体で貫き、「社会から信頼され必要とされる会社」を目指してまいります。

当社グループのCSRに関する考え方と活動をご理解いただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

2012年4月

株式会社トーホー 代表取締役社長

上野 裕一





提案活動

幅広い業態のお客様ニーズに対応した商品・メニュー提案

トーホーグループのお客様は、レストランやホテルから、喫茶店、居酒屋、病院や介護施設まで多岐にわたります。そのような外食産業のお客様の幅広いニーズにお応えするために、約9万アイテムに及ぶ「和食・洋食・中華」のあらゆるジャンルの業務用食材を揃えています。さらに(株)トーホーフードサービスの各事業所には、プロユースの本格的なキッチンを備えた「プレゼンテーションルーム」を設置し、食のトレンドに合わせたメニュー提案や新商品の情報提供をしています。

また(株)トーホーキャッシュアンドキャリーのA-プライスでは、ホームページや季刊誌で商品情報、メニュー情報などお客様のお役に立つ情報を発信しています。

さらに近年、食に対する「安心・安全」への意識の高まりを受けて、お客様の品質・衛生管理を代行するサービスも提供しています。



展示商談会

全国7会場で総合展示商談会を開催

外食産業のお客様に役立つ情報を提供する「総合展示商談会」を毎年開催しています。

2011年度は(株)トーホーフードサービスが例年の5会場(東京、名古屋、大阪、福岡、熊本)に岡山を加えた6会場と、(株)昭和食品でも開催し、合わせて計7会場で開催しました。その結果延べ13,000名を超えるお客様にご来場いただきました。

2012年度も7会場で開催する予定です。



(株)トーホーフードサービスでは『お客様の繁盛のために～私たちができる「ご提案」』というテーマで開催



(株)昭和食品では10月に「2011秋・冬業務用食材フェア」と題して開催

東日本大震災からの復興に向けて

グループをあげて被災地を支援

2011年3月11日の東日本大震災によって、首都圏の事業所の一部が被災し、商品破損などが発生しました。特に、(株)トーホー・カワサキ水戸本社では建物の一部が損壊し、電気も停止したため、グループをあげて冷凍食品の退避や建物修繕などの救援にあたりました。

また(株)トーホーフードサービスでは、お客様からの商品支援要請にお応えし、運送可能なルートを探して迅速に商品を供給しました。



(株)トーホー・パワーラックスではワイン約600本などの商品破損が発生



(株)トーホー・カワサキ水戸本社では天井が破損するなど、建物の一部が損壊し、電気・ガスなどのインフラが3日間にわたり供給停止

外食ビジネスを営むお客様へ



全国各地で外食産業のプロに満足いただける食材を提供する

外食店にいらっしゃるお客様が安心して美味しい食事を楽しんでいただくことでお店の“繁盛”に少しでも役立ちたいと、トーホーグループは考えています。そこで、外食産業のお客様の声に真摯に耳を傾け、安心・安全で、高品質なこだわりの業務用食材を調達・提供するとともに、メニュー提案やサービス提供に注力しています。



従業員からの声

取引先ホテル様に当社のフェアトレード認証コーヒーを採用いただき、宿泊者からの評価が向上

当社の鹿児島県内の取引先ホテル様では、宿泊者アンケートで「朝食バイキングでもっと美味しいコーヒーが飲みたい」という意見が多く寄せられているとお悩みを抱えていらっしゃいました。また、同ホテル様では「地産地消」を推進されるなど社会貢献活動に取り組んでいらっしゃることから、生産者を支援するという意味でフェアトレード認証コーヒーを使用したオリジナルブレンドを提案しました。

他のホテルの事例なども紹介しながら、朝食時に好まれるコーヒーを提案したことで、採用いただくことができました。

当社コーヒーの採用後は、「コーヒーをお代わりする宿泊者が増えた」、「コーヒーが美味しいと宿泊者から評価された」と、ご好評をいただいています。また、同ホテル様の朝食バイキング以外でも当社のフェアトレード認証コーヒーをお取り扱いいただくことになりました。

株式会社トーホーフードサービス
鹿児島支店 課長補佐
宮川 尚之

各地のお客様に密着した テーマ別展示商談会

お客様の業態や地域ニーズに対してより細やかな提案を行うため各地域で「テーマ別展示商談会」をグループ全体で開催しています。

2011年度は34拠点で合計116回開催しました。



(株)トーホーフードサービス 名古屋支店

2011年6月、「がんばろう東北!」をテーマに、東北の酒と復興支援グッズに限定した「東北の酒展示商談会」を開催。居酒屋などを中心に40軒、65名のお客様にご来場いただきました。



(株)トーホーキャッシュアンドキャリー A-プライス諫早店

2011年4月、諫早店で初めてのテーマ別展示商談会を開催。居酒屋・焼鳥屋業態133軒、288名のお客様にご来場いただきました。



食の「安心・安全」

～ 消費者に安心して外食していただけるように

食の安心情報サービスの提供

全国の約**3,500店舗**の
お客様にご利用いただいています

外食産業のお客様にインターネットで商品情報を提供する「食の安心情報サービス」を2009年度に開始しました。

業務用食品業界の商品情報標準データベース「FDB(ファイネット商品データベース)」を活用し、アレルギーや原産国、栄養成分、品質規格などメーカー様が登録した370項目もの最新情報を検索できる業界初で唯一のサービスです。

●食の安心情報サービス



商品開発

お客様の声を受けて
オリジナルコーヒーを開発しました

「美味しさ」そして「安心・安全、健康、環境」をキーワードに、さまざまな自社商品を開発するとともに、お客様のご意見・ご要望に応じた商品の開発にも取り組んでいます。

2011年度はコーヒーについて「他店と差別化できる、独自のプライベートブランドを開発してほしい」というお客様のご要望にお応えして、約40種類のオリジナルコーヒーを開発しました。



何種類もある豆から
オリジナルコーヒーを
開発しています

保管時の安全管理

多温度帯管理で
保管時の品質を守ります

品質保持のため、温度管理には特に留意しており、保管庫を常温・定温・冷蔵・チルド・冷凍・超冷凍などの多温度帯に分け、各商品に応じた適正な保管庫に格納しています。

また商品の仕分けは、約15℃に設定した低温の仕分け場で行い、そのまま商品を極力外気に触れさせることなく配送トラックに積み込めるドックシェルターという施設を各事業所に設置しています。



商品に応じて
温度管理に特に
留意しています

残留農薬などの検査

放射性物質の検査を
8月から実施しています

厚生労働省登録検査機関である(株)キューサイ分析研究所と提携し、750種類以上に及ぶ残留農薬検査を可能にしています。基準以上の残留農薬などが検出された場合は販売を停止するなど、適切な対応をとっています。

2011年8月からは放射性物質の検査を開始しました。放射能汚染情報を収集し、毎月、自社取扱商品5アイテム以上の放射性物質検査を実施しています。



2011年11月に
試験機関の国際規格
ISO/IEC17025の
認定を取得しました

製造委託先の品質管理

信頼性の高い検査を実施して
安全管理を徹底しています

自社開発商品の製造委託先に対して、管理面・衛生面での点検・検査を徹底しています。十分な安全管理体制が構築されているか、あるべき安全予防対策が適切に運用されているかなどを確認するほか、運用時のポイントや注意点を指摘しています。

特に2011年度は、さしみなどの生食用商品や消費者がそのまま食べる惣菜などの加熱した商品を製造する工場や施設への点検・検査を強化しました。



製造工程や商品の
安全性を
確認しています

フェアトレード認証コーヒーの提供

国内トップクラスの
販売量を誇ります

フェアトレードは、コーヒーの小規模生産者に最低買入価格を保障し、公正な取引によって生産者の継続的な生活の向上と自立を支援するものです。

トーホーグループはこの趣旨に賛同し、積極的にフェアトレード認証コーヒーを取り扱っています。

2011年度は、40アイテム、58,388kgを販売しました。今後も新しい産地を開拓し、品質にこだわったフェアトレード認証コーヒーを商品化していきます。



A-プライスで
有機フェアトレード
モカコーヒーの販売を
再開しました

コーヒーの生産地



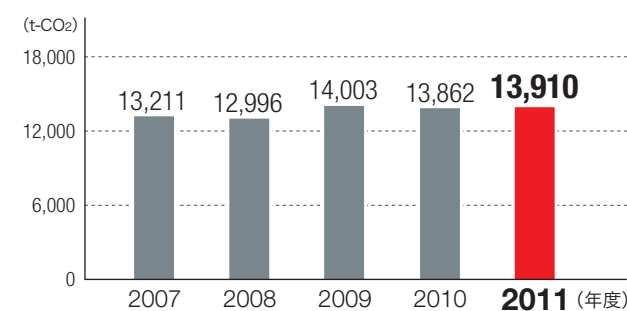
「環境」への配慮

～ 事業活動にともなうCO₂排出を低減するために

「エコ安全ドライブ」の推進

配送時のCO₂削減に取り組んでいます

●車両からのCO₂排出量



商品の配送にあたっては、CO₂排出量の削減とともに安全運転にも役立てるため「急発進、急加速、急ブレーキをしない」「適切な車間距離をとる」などを実践する「エコ安全ドライブ」に取り組んでいます。

2011年度は、(株)トーホーフードサービス神戸支店と佐賀支店でドライブレコーダーの実証実験を行い、効果、性能、操作性などを検証しました。この結果を受けて、2012年度中に本格導入する予定です。



ドライブレコーダーを搭載して比較しています

株式会社トーホーキャッシュアンドキャリア
A-プライス 竹下駅前店
佐田 梨絵子



東日本大震災からの復興に向けて

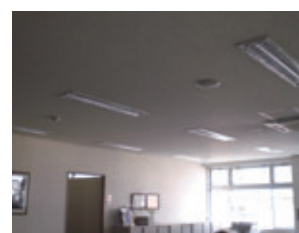
全国で節電対策を実施

(株)トーホーフードサービスの各事業所では、クールビズ、ウォームビズに取り組むほか、照明の間引きやこまめな消灯などの節電対策に取り組みました。

(株)トーホーキャッシュアンドキャリアA-プライス店舗では、店内やショーケースの照明の間引きや過度な空調使用を抑えるなどの節電に取り組んでいます。来店されるお客様には節電の取り組みを周知するポスターを掲示して、ご理解とご協力をお願いしました。



ショーケースの照明の間引き



オフィスでの照明の間引き

店舗でのレジ袋削減

エコポイント付与率が15.9%になりました

A-プライス店舗では、段ボールでの商品のお持ち帰りを呼びかけるほか、レジ袋を必要とされないお客様にエコポイントを付与しています。

2011年度はポイントカードを発行店舗だけでなく、全店舗共通で利用できるように改善しました。

従業員からの声

店舗でもお客様のご協力を得ながら節電

当店では、従来からバックヤードの冷凍・冷蔵庫の扉を全開放から半開きにするなど省エネルギーを推進してきました。今年は東日本大震災を受けてさらなる節電対策に取り組みました。店内に節電活動への取り組みを告知するポスターを貼って、お客様のご協力を得ながら、冷凍・冷蔵ケースの照明はすべて消し、店内・事務所の空調使用を抑えるなど節電に努め、電力使用量を削減することができました。

これからも環境に配慮したお店づくりを進めていきます。



お客様に節電をお知らせするポスター

シャンボール(株)で

ご高齢者が家族と一緒に食べられるお菓子を開発

ご高齢者でも美味しく食べられる焼き菓子を作りたいと考え、唾液の分泌を促し消化吸収を助けるグルタミン酸を多く含むチーズを用いた「チーズボッシュェ」と、お口の中でほろほろと溶けて咀嚼しやすい「ポルポロン」を管理栄養士と共同で開発しました。

ご試食アンケートでもご好評をいただき、2011年9月から神戸市内の取引先ホテル様で販売していただいております。他のお客様へも積極的にご提案しています。今後も、美味しく、かつ身体にもやさしいお菓子づくりに取り組んでいきます。



グルタミン酸を多く含む「チーズボッシュェ」



シャンボール株式会社
シャンボール営業課 課長
山崎 巖

(株)A.I.で

輸送用段ボールを再利用し廃棄物を削減

当社の取扱品はすべて輸入品です。常温、チルド、生鮮、冷凍と商品によって保管温度帯と取扱方法が異なるため、品質には細心の注意を払っています。

特に丁寧な温度管理が必要な生鮮品は、アイテムごとに梱包された上で、3層の段ボールに保護された状態で輸入されてきます。これら段ボールのうち、薄いものは発送時の損傷を防ぐための緩衝材に、厚地のものは梱包材などに再利用するほか、一部の発泡スチロールも梱包材として再利用して、廃棄物の削減に努めています。



梱包材などに再利用



株式会社A.I.
代表取締役 社長
大塚 昇

全国のグループ会社でもCSRの輪が広がっています

(株)昭和食品で

店舗での職場体験に中学生を受け入れ

黒磯支店では2009年から、那須塩原市が実施している中学生の職場体験「マイチャレンジ事業」に協力しています。2011年10月には、那須塩原市立日新中学校の2年生を受け入れ、1週間にわたって店舗内と駐車場の清掃、食材の補充、レジでの袋詰めなどの業務を体験していただきました。

受け入れた生徒からは「お客様から『頑張ってね』と声をかけられたことがとても励みになりました」といった感想をいただきました。その真摯な姿に私たちも身が引き締まります。

今後も積極的にこのような活動に協力し、地域社会に貢献できる会社にしていきます。



職場体験中の中学生

株式会社昭和食品
黒磯支店 店長
野澤 章男





「腕自慢！料理甲子園」

従業員自慢のヘルシー料理を商品化

(株)トーホーストアならではの惣菜商品を開発しようと、2011年7月に従業員自慢のヘルシー料理を募る「腕自慢！料理甲子園」を開催しました。健康に配慮されていることを前提に、美味しさ、見栄え、独自性などの観点でエントリーされた68作品(レシピ)を審査。その結果、最優秀賞には「おからと鶏の和風つくね」が選ばれ、商品化が決定しました。

10月から1か月間トーホーストア4店舗の惣菜コーナーで販売し、11月には全店舗に拡大しました。11月の1か月間で販売目標196万円を大きく上回る295万円を販売しました。



選考会に集まった料理自慢の従業員



お客様がご自宅でも作れるよう、売り場付近でレシピも配布

お客様への配慮

買い物弱者に配慮した店舗づくり

ご高齢者をはじめ、食料品などの日常的な買い物が困難な買い物弱者の数は600万人に上ると推計されています。そうした方がいらっしゃる地域に出店することが(株)トーホーストアの使命と考え、2011年3月、神戸市垂水区に塩屋北店を出店しました。最寄り駅から徒歩約20分の高台に位置する同店の周辺には、ほかに店舗がなく、ご高齢者や小さなお子様のいるご家族も数多く生活されています。

お客様にご利用いただきやすい店舗を目指して、塩屋北店では通路幅を従来店舗よりも約20%広くし、明るく商品が見やすい店舗づくりに努めました。ご購入いただいた商品をご自宅までお届けする「らくらくカエル便」も導入しています。



購入した商品を自宅に届けるサービスも導入



車いすやベビーカーでの移動に配慮した広々とした通路



一般のお客様へ



「健康で安心な地域の冷蔵庫」として 愛され親しまれる店舗づくり

(株)トーホーストアが大切にしていることは、誰もが買い物がやすく、環境にも配慮した店舗づくりと、笑顔あふれるコミュニケーション、そして新鮮で産地にこだわった食材の提供です。「健康で安心な地域の冷蔵庫」として、これからも地域の皆様の健やかな暮らしを応援していきます。



株式会社トーホーストア
六甲道駅前店
木村 久美子

従業員からの声

お客様への熱い思いが 最優秀賞へ

テーマである「健康」を大切に、一度食べたら「また食べたい」と思っていたものにしたいと考え、いろいろと工夫しました。最優秀賞を受賞でき、本当にうれしいです。多くのアイデアが生まれ、私たち従業員のモチベーションアップにもなる「腕自慢！料理甲子園」を、今後



最優秀賞を受賞した
「おからと鶏の和風つくね」

もぜひ続けてほしいです。日本では、「安心・安全」「健康」への関心が特に高いと思いますが、(株)トーホーストアはそうしたお客様の目線に常に気を配り、細やかな対応ができていないのではないかと思います。



株式会社トーホーストア
塩屋北店 店長
泉田 直亮

従業員からの声

お客様との対話を大切にして 「人が集まる場所」に

地域に密着した店舗づくりを第一に考えています。例えば「塩屋」という場所は、イカナゴの釘煮の発祥の地。開店した昨年3月はまさにイカナゴの旬の時期にあたり、お客様から「イカナゴはないの?」とお問い合わせをいただきました。今年は、売り場も工夫して、できるかぎりお客様のご要望に近づけるよう努力しています。

2011年12月には抽選会を実施したところ、多くのお客様がご来店くださり、大変好評でした。

今後もお客様との対話を大切にして、地域の皆様が集まるコミュニティスペースになりたいと考えています。

社外からの声

「らくらくカエル便」ご利用の お客様からの声

●大きい物や重たい物を買った時には週に3~4回程度利用しており、本当に助かっています。お弁当の宅配サービスなどがあれば、もっと助かると思います。

●身体が不自由なためヘルパーさんの付き添いでお店に来ていますので、カエル便のおかげでまとめて買い物ができて大変助かっています。また、売り場のスタッフの方やサービスカウンターの方にも親切に対応していただき、いつも気持ち良く買い物ができています。





食の「安心・安全」

～ 地元の新鮮で安全な食材を提供して

食料自給率の向上

「五国豊穰」で地産地消を推進

兵庫県産商品やそれらを使用した加工商品などを「五国豊穰」と名付け、2009年度から販売しています。

(株)トーホーストアの自社商品「くらしアイ」では、兵庫県南部の酪農家が搾乳した新鮮な牛乳を地元工場でパック詰めした「兵庫の郷牛乳」を開発・販売しているほか、カニの殻を配合した特別飼料で飼育した「兵庫産かに美鶏」なども取り扱い、お客様にご好評をいただいています。



地産地消の
販売コーナーを
設けています

農業への参入

「ひょうご安心ブランド」の認証を 5品目で取得しています

農業法人(株)トーホーファームを2009年12月に設立し、現在4haの農地で17品種の野菜を栽培しています。化学肥料・化学農薬を極力使わずに育てた野菜を認定する「ひょうご安心ブランド」の認証取得に取り組んでおり、2011年度末時点で、じゃがいも、ブロッコリー、はくさい、たまねぎ、スイートコーンの5品目で認証を取得しています。

2011年12月には、より多くのお客様に「ひょうご安心ブランド」商品を知っていただくために、(株)トーホーストアの店舗で試食販売会を実施しました。

地産地消の普及

「コウノトリ育むお米」の 稲刈りツアーを実施しました

コウノトリの野生復帰を支援するため、「コウノトリ育むお米」などを販売し、その売上の一部を「豊岡市コウノトリ基金」に寄付しています。2011年度は、その美味しさや自然との共生を目指す取り組みを知っていただきたいと、「コウノトリ育むお米豊岡稲刈りツアー」を企画。抽選で10家族をご招待しました。



※写真はAたじま様にご提供いただいた
ものです。

稲刈りやコウノトリの
里公園の見学を
していただきました



2011年度は、
たまねぎ、
スイートコーンで認証を
取得しました



ひょうご安心ブランド

試食販売会を
実施しました



「環境」への配慮

～ お客様とともに廃棄物を削減し、社会に貢献するために

食品廃棄物のリサイクル

野菜くずのリサイクルに 取り組みました

(株)トーホーストアから出る食品廃棄物の約6割は野菜くずです。そこで2011年度は、北鈴蘭台店をモデル店として、野菜くずを液体肥料にリサイクルする試みに取り組みました。その結果、北鈴蘭台店での食品リサイクル率は5%から70%台へと大幅に向上し、トーホーストア全体でも0.4%向上しました。

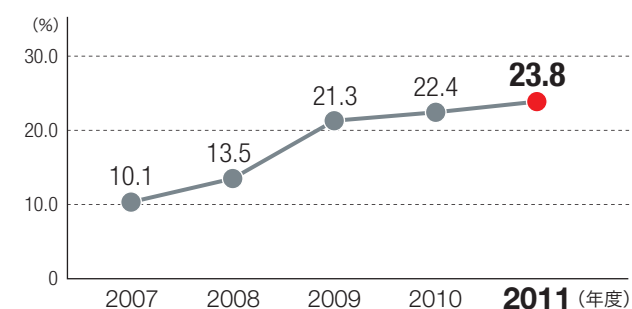


店舗で
食品廃棄物の分別を
徹底しています

店舗でのレジ袋削減

辞退率が23.8%に向上しました

● トーホーストアのレジ袋辞退率



お客様にマイバッグの持参を呼びかけています。レジ袋の無料配布を中止した3店舗では、レジ袋の収益金で、環境に配慮した商品をお客様にプレゼントしたり、地元の秋祭りに寄付したりしています。

2012年度は新たに5店舗で無料配布を中止します。

東日本大震災からの復興に向けて

お客様にご協力いただきながら各店舗で節電

お客様にご協力いただきながら、店内照明の間引きなど、電力使用量の削減に取り組みました。

また2011年度中に改装した5店舗に、省エネ機器(ショーケース、照明、空調)を導入し、電力使用量の削減に努めました。これにより(株)トーホーストア全店舗で1.3%の削減となりました。

2012年度も改装・出店時にあわせ、省エネ機器を導入していく予定です。



ショーケースの照明の間引き

エコキャップ運動

約4,700名分のワクチンを 贈ることができました

ペットボトルキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ運動」に参画しています。もともと社内活動として始められたものですが、2010年度から(株)トーホーストア各店舗に回収ボックスを設置し、お客様にもご協力いただくようになりました。

2011年度には、地域の小学校からも寄付したいとお声がけをいただいて、活動の輪がさらに広がりました。集まったペットボトルキャップは3,753,430個になり、4,692名分のワクチンを贈ることができました。



地域の小学生にも
「エコキャップ運動」に
協力して
いただきました



食育・食農活動

“自然”や“食”の大切さを伝えて

(株)トーホーは、(社)兵庫みどり公社が総合的に管理運営する体験施設「兵庫楽農生活センター」で、自然や食の大切さを伝える楽農交流事業に参画。家族で土と親しむ「野菜栽培体験」や「きのこ収穫体験」、自然を体験できる「里山再生塾」など、さまざまな体験コースを実施しています。2011年度には延べ1,195名に参加いただきました。

2011年度には、自然環境の大切さを学ぶ劇（「内閣府NPO法人 メダカのコタロー劇団」主催）も上演しました。

さらに、2008年度から県内の小学生の環境体験学習も受け入れており、2011年度には学校法人須磨浦学園須磨浦小学校の3年生35名を受け入れ、さつまいも・落花生の収穫体験や里山体験などを年間3回実施しました。



小学生の環境体験学習を受け入れ



里山での昆虫観察



自然環境の大切さを学ぶ劇を上演

楽農レストラン

自然環境と体にやさしいメニューを提供

「兵庫楽農生活センター」内の楽農レストラン「育みの里 かねでかねで」では、「旬」と「地産地消」にこだわったメニューを提供しています。(株)トーホーファームや地元の農家で収穫された野菜を中心に、兵庫県産の食材をできる限り使用。地元農家とは月1回ミーティングを実施し、事前に料理を食べていただいたりしています。2006年11月にオープンして以来、多くの方にご利用いただき、2011年8月にはご来店者数50万人を達成しました。

2011年度には、お客様からのご要望にお応えして、野菜を使った手づくりケーキを開発し、デザートメニューを充実させました。



野菜を中心にしたヘルシーメニューが、女性のお客様を中心に大好評をいただいています



旬の食材を用いた和洋中創作料理
50種以上を常時用意



ステークホルダーの皆様へ



良好な関係づくりに努めて 社会から必要とされる企業を 目指す

「食を通じた社会貢献」の一環として、地域に根ざした食育・食農活動に注力しているほか、ステークホルダーの皆様への責任を果たすため、さまざまな活動に取り組んでいます。
これからも、ステークホルダーの声を指標として、ともに歩み、社会から必要とされる企業であり続けます。



社外からの声

楽しめる企画があり 近くにあればもっと参加したい

初めて体験学習に参加しました。ゆったりした敷地の中で地産地消を推進している、とても良い施設だと思いました。

きのこ館では菌床栽培の様子を実際に目にすることができ感動しました。収穫体験では、収穫した野菜の重量を計ってその重さによって賞がもらえるといった企画も楽しかったです。近くにこのような施設があれば個人的にもいろいろ参加してみたいと思いました。

働いているみなさんも親切、丁寧でした。ありがとうございました。

～打出浜コープ委員会の方から

社外からの声

親切なスタッフが野菜づくりの ポイントを心を込めて説明

体験学習のスタッフのみなさんが親切で好感が持てました。土づくりや肥料など美味しい野菜づくりのポイントを、心を込めて説明していただきました。

楽農レストラン「育みの里 かねでかねで」には多様なメニューがあり、大変美味しかったです。ぜひまた来たいです。

参加したメンバーからは「もっとたくさんさんのほ場を見たかった」「質問したいことがありすぎて時間が足りなかった」といった感想が出て、次回はもう少し時間をかけて来たいと思いました。

～丹波OB大学4年生の方から



楽農レストラン
「育みの里 かねでかねで」
料理長
竹内 邦明

従業員からの声

無駄なく、美味しく食べられる あっと驚くメニューを提供したい

ブロッコリーは茎の部分が一番美味しいし、柿やイチジクを皮ごと天ぷらにすると本当に甘くなる——「かねでかねで」で伝えるべき「食育」とは、農家の方が大切に育てた野菜や果物を、無駄なく、美味しく料理して、食べていただくことだと考えています。

料理は彩りも大事です。野菜の新鮮さが感じられる、見た目にも美味しいメニューを心がけています。

まだ提供したい新メニューのアイデアはたくさんあります。お客様があっと驚く、ここでもしかお召し上がりにならないメニューをこれからも提供し続けたいと思います。



旬の食材を使って、ご家庭でもすぐに実践できるプロのコツを伝授する「地産地消料理教室」



旬の食材の美味しさを引き出す、工夫を凝らしたメニューを考案



従業員とともに

～ 働きがいのある職場を作り、ともに活動を推進

ワークライフバランス推進

「JOBリターン制度」をはじめ
27名が制度を活用しました

トーホーグループでは、すべての従業員がその能力を十分に発揮し、安心して働き続けられるよう、仕事と家庭を両立できる環境の整備を進めています。子育て支援制度の拡充や年次有給休暇の計画付与制度の導入などに取り組んでいます。

その一環として、結婚、出産、介護など、やむを得ない理由で退職した従業員を再雇用する「JOBリターン制度」を2008年度から導入しています。2011年度末時点で「JOBリターン制度」に8名が登録しており、2名を再雇用しています。

次世代認定マーク
「くるみん」を
取得しています



●制度活用者数

制度	活用者数
育児休業制度	15名
育児のための勤務時間短縮制度	2名
幼児のための勤務時間短縮制度	2名
JOBリターン制度	8名

女性の活躍支援

働く女性や女性管理職
を支援しています

トーホーグループでは女性従業員の活躍推進を支援する研修プログラムに積極的に参加しています。その一環として女性管理職のスキル向上などを図るため、「兵庫県下における女性管理職登用率上昇の推進」を中期活動テーマに掲げる「兵庫県経営者協会女性産業人懇話会」に会員として継続的に参画しています。また神戸市が主催する「女性活躍推進プログラム@神戸」に2010年度から参加し、リーダーに求められるスキルなどを身に付けています。

また、働く女性の育児と仕事の両立を考える機会として当社グループの労働組合、トーホーユニオンが「育児休業経験者によるレディースコミュニティ」を開催しました。経験者が体験談を披露するとともに、未経験者からの質問に答えるなど、交流を深めました。また、当日交わされた参加者からの意見を集約し、さらに安心して働き続けられる制度の整備を目指していきます。

「育児休業経験者
によるレディース
コミュニティ」を
開催しました

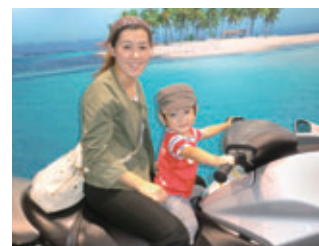


従業員からの声

再びやりがいのある仕事に戻れるように

在職中に出産し、「育児のための勤務時間短縮制度」を利用しました。上司や同僚の理解を得て、育児と仕事を両立させることができました。しかし、夫の転勤によって勤務が難しくなり、「JOBリターン制度」に登録し、いったん退職することを決めました。

この制度で職場復帰でき、やりがいのある仕事に戻れることを望みます。会社との距離が離れないようにインターネットなどの情報提供を期待します。



従業員の省エネ意識の向上

電力使用量を“見える化”しました

2012年4月、本社東館・西館・コーヒー工場の電力使用量をリアルタイムに表示する電子掲示板を本社内に設置しました。電力使用量の“見える化”によって、従業員の省エネ意識をさらに高めていきます。



さらなる節電に向けて
電力使用量を
“見える化”しました

東日本大震災からの復興に向けて

お客様、株主様にもご協力いただき
義援金を寄贈

トーホーグループでは、東日本大震災の被災地の復興支援のため役員・従業員、(株)トーホーおよび労働組合からの拠出金による義援金を寄贈したほか、店頭募金活動や(株)トーホースタアの「ポイント交換制度」による募金活動を実施しました。

さらに社会貢献活動に寄付をする「社会貢献型株主優待制度」を活用して震災復興の義援金とさせていただきます。



店頭の募金箱

●寄付総額

内容	寄贈金額
トーホーグループ役員・従業員からの募金	3,148,445円
トーホーおよび労働組合からの拠出金	6,296,890円
トーホーグループ店舗での 店頭募金活動による義援金 (トーホースタア全40店舗、 A-プライス全85店舗、昭和食品全2店舗、 トーホー・パワーラックス全5店舗ほか)	4,252,483円
「社会貢献型株主優待制度」を活用した義援金	3,094,263円
トーホースタア「ポイント交換制度」による 義援金	219,520円
合計	17,011,601円

被災地の農産物を応援する
「食べて応援しよう！
茨城県産農産物フェア」を開催

2011年5月14、15日に、(株)トーホースタア9店舗で東日本大震災の被災地である茨城県産農産物11品目を販売する「食べて応援しよう！茨城県産農産物フェア」を開催しました。これは、「食を通して社会に貢献する」というトーホーグループの経営理念のもと、「販売を通じて被災地生産者を応援したい」「お客様の『被災地を応援したい』という気持ちにお応えしたい」との思いから企画、実現したものです。

当日は当社の志に賛同していただける多くのお客様にご来店いただき、フェア商品をお買い求めいただきました。



「食べて応援しよう！
茨城県産農産物フェア」

社会から信頼され必要とされる企業グループを目指して 経営の透明性を高めています

ガバナンス体制

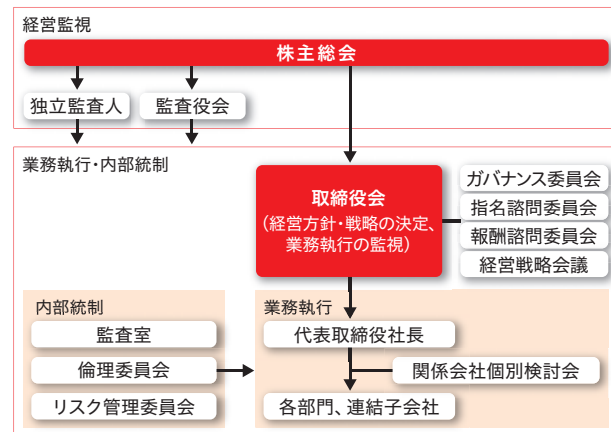
経営の透明性を高め、 経営監査機能を強化しました

トーホーグループは、企業価値の継続的向上、経営監視の強化、健全な企業活動、法令遵守の徹底を目的に、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の充実を図っています。

2011年度は、社外取締役を2名、社外監査役を1名それぞれ増員しました。これによって、取締役の半数と監査役の4分の3が社外役員となりました。

さらに取締役会の諮問機関として、(株)トーホーの役員と主要子会社の代表取締役などの候補者を選考し、取締役会に推薦する「指名諮問委員会」および役員報酬案などを検討し取締役会へ答申する「報酬諮問委員会」を新たに設置しました。

●ガバナンス体制



トーホーグループのCSRに対して、ご意見をいただきました



公益社団法人
日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント協会 理事

古谷 由紀子様

幅広いステークホルダーの声を聞き、社会を意識した取組みが充実しています
外食ビジネスのお客様、一般のお客様、消費者、従業員、多くの社外役員、地域社会など多様なステークホルダーの声を聞き、良いと考えるものをできるだけ実践している姿勢が見受けられます。貴グループの優れた社会性を感じます。

「安全・安心」について、外食ビジネスに取組むお客様の課題を解決しながら、その先の一般のお客様を視野に入れた取組みが優れています

「安全・安心」について、外食ビジネスの課題の解決として食の安全情報提供、放射性物質の検査体制などに取組んでいますが、ビジネスのお客様の先の一般のお客様を視野に入れた取り組みであると評価できます。一層の充実を期待します。

CSRの取組みを広く情報開示していますが、マイナス情報も含めた経営全体の報告により、レポートの信頼性を向上していくことを期待します

多様な取組みについて情報開示していますが、“点”での情報開示に留まっているように見えます。たとえばCO₂の削減は配送時のみしか記載がなく、他の事業活動での取組みは見えません。課題なども含めた全体的な情報開示がなされることで、CSRレポートの信頼性が高まると考えます。

目標設定などによる長期的なCSRマネジメントを期待します

CSRについて、本質的な取組みとするために、目標を設定し、PDCAによる継続的な実施によるCSRマネジメントを期待します。

第三者意見をいただいて



株式会社トーホー
取締役専務 CSR推進部長

中溝 武夫

私達は、多様なステークホルダーの皆様に支えられ日々事業活動を行っております。その皆様から頂戴するご意見やご指摘を可能な限り対処し実践していくことは、当社グループの社会的責任だと認識しております。

中でも、食に携わる企業として「安心・安全」な食材を提供することが第一義だと考えております。その一環として「食の安心情報サービス」の提供や、当社グループ内の品質検査体制の機能を強化し、「残留農薬検査」「放射性物質検査」などの活動に日常的に取り組んでおります。

また、食料自給率向上も重要と考え、自社農園の運営や食育・食農活動にも取り組み、地域の活性化や食文化に貢献するため「地産地消」にも取り組んでおります。

社会から信頼され必要とされる企業を目指して、今後さらなるCSRマネジメント充実のため活動目標や指標を設定し、進捗確認や改善に努め、持続的に成長していきたいと考えております。

東日本大震災からの復興に向けて

震災時のBCPを見直し

2011年度は、東日本大震災を受けて、震災・災害対策のBCP（事業継続計画）を見直しました。特に、本社が津波などの被害を受けた場合の対策に重点を置きました。

そのほか、11月には非常時に用いる情報通信機器を導入し、それを用いた安否確認訓練をグループ全社を対象として実施しました。

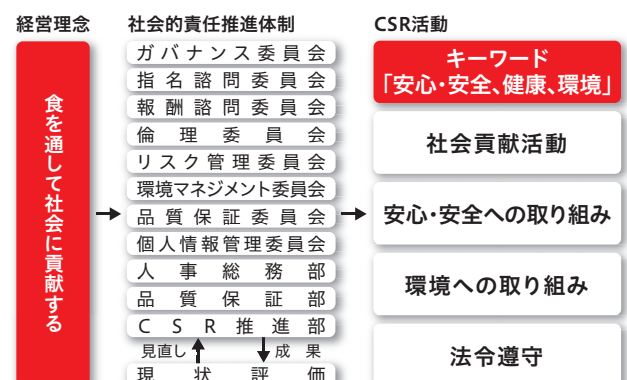
CSRマネジメント

グループ会社研修を実施しました

2011年度は、従業員のCSR意識を高めるために、トーホーグループが取り組んでいる主なCSR活動を紹介するポスターを新たに作成しました。

また首都圏のグループ会社の従業員を対象とした研修で、当社グループのCSR活動を説明しました。

●CSRへの取り組みの基本的な考え方



社外取締役からの声

お客様と株主様の利益を守り、会社の発展に向けて

行政に長い間身を置いていた者として、コーポレート・ガバナンスを考える際どうしても、コンプライアンスの問題と小さく捉えがちです。平坦でまっすぐな道を歩き、前例踏襲では企業経営は成り立ちません。先行き不透明な状況においても、リスクをとってM&Aなどの投資をしていかなければなりません。そのなかでコンプライアンスを徹底し、お客様と株主様の利益を守り、そして会社を発展させていくことがコーポレート・ガバナンスの役割だと思います。

(株)トーホーは、今まさにその方向に進んでいます。今後もコーポレート・ガバナンスに微力ながら寄与していきたいです。